

会 報

No.65 (2000年2月)

目 次

◆第11期第2回評議員会報告	1
◆第22回総会報告	2
◆WWWによる会員原簿調査について	2
◆第23回(2000年)日本分子生物学会年会のお知らせ(その1)	4
◆学術賞、研究助成の本学会推薦について	6
◆研究助成一覧	7
◆各種集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ	9
○神奈川科学技術アカデミー(KAST)教育講座(9)	
○第10回生命工学シンポジウム(9)	
○計算科学技術活用型特定研究開発推進事業研究報告会(ACT-JST)(9)	
○第11回NTT Science Forum(10)	
○第4回マリンバイオテクノロジー学会大会(10)	
○第15回日本生体磁気学会大会(11)	
○蛋白合同年会 東京2000(11)	
○第27回核酸化学シンポジウム(11)	
○4th International Conference on Biological Physics(12)	
○第2回C. エレガンス日本集会(12)	

日 本 分 子 生 物 学 会

(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

URL: <http://MBSJ.biol.kobe-u.ac.jp/>

◆日本分子生物学会 第11期 第2回評議員会報告

日 時：1999年12月6日（月）15：30～19：30

場 所：シーホークホテル 桜の間

出席者：柳田充弘（会長）、池田日出男、石浜 明、大塚栄子、大坪栄一、小川智子、勝木元也、近藤寿人、杉野明雄、松原謙一、西本毅治（22回年会長）、西田栄介（庶務幹事）、磯野克己（会計幹事）、山本正幸（編集幹事）、小林英紀（集会幹事）

欠席者：谷口維昭、辻本賀英、長田重一、本庶 佑、山本 雅、吉川 寛、鍋島陽一、花岡文雄

議 事：

1. 第1回評議員会の議事録を確認した。
2. 1) 庶務幹事より平成12年度科学研究費補助金（二段審査に関わるもの）の審査委員候補者として、第一段審査委員16名（継続分3名、新規13名）、また二段審査委員として2名を学会から推薦したことが報告された。
2) 庶務幹事より各種学術賞、研究助成候補の推薦の状況について報告された。
3) 会計幹事より1998年度日本分子生物学会収支決算の報告が行われた。すでに会計監査の検査により適正に予算の執行が行われたことが確認された。続いて、1999年度会計の中間報告がなされ、支出も含め順調に執行されている旨紹介された。
4) 西本毅治第22回年会長から、第22回年会の開催に当たっての基本的考え方についての説明があった。参加人数は6,000人を超え、年会の規模の拡大は予想通り進んでいること、ポスター発表を重視し、ドームで2日間掲示するようにしたことなどが紹介された。
5) 杉野明雄第23回年会長より、第23回年会は2000年12月13日（水）～16日（土）の期間、神戸国際展示場ならびに国際会議場を主会場として開催される予定であることが報告された。
6) 会計幹事よりホームページについて、多数のアクセスがあるなど有効に利用されていること、また、さらに充実したい旨紹介された。
7) 編集幹事より、Genes to Cells が投稿・刊行ともほぼ順調であり、初年度のインパクトファクターは4.3であったことなどが報告された。
3. 協議事項
 - 1) 第24回年会は、山本正幸教授を年会長として首都圏で開催する予定であることが了承された。
 - 2) 会計幹事より2000年度事業計画および予算案についての説明があり、異議なく了承された。
 - 3) 柳田充弘会長より、日本分子生物学会の規模の拡大に見合うよう、評議員を若干増員してはどうかとの提案があり、会則（細則）の変更も必要となる可能性もあることなどから、小委員会を発足させて検討することとなった。
 - 4) 日本学術会議会員候補者に関して、評議員が投票を行い、それに基づいて候補者を選定すること、推薦人に関しては、会長が選定することとなった。
 - 5) 柳田会長より、年会の規模が大きくなり、ごく限られた大都市でしか年会が開催できない状況を考慮して、春季に、前年度にインパクトのある成果を挙げた人などの発表も含めたシンポジウムを年会の行われない都市で開催してはどうかとの提案があり、2001年より行う方向で検討していくこととなった。

◆日本分子生物学会 第22回 総会報告

日 時：1999年12月9日（木）12：00～12：40

場 所：福岡ドーム・バックネット前特設会場

議事内容：

1. 柳田会長が開会の挨拶を行い、総会議長として佐方功幸氏を選出した。
2. 議長より、委任状を含めて600人以上の総会参加があり、総会が成立していることが発表された。
3. 柳田会長より1999年度の学会活動の概要が報告された。
4. 山本編集幹事より Genes to Cells の編集・発行とも概ね順調であるとの報告がされた。
5. 西田庶務幹事より会員数が11,000人を超え、予想通りの伸びを示していることなどが紹介された。
6. 磯野会計幹事より1998年度会計収支決算書が提出・説明され異議なく承認された。
7. 磯野会計幹事より2000年度事業計画および収支予算案が提案・説明され異議なく承認された。
8. 西本第22回年会長の挨拶があり、参加者が最終的には6,000名を超えることが見込まれるなど、年会は順調に運営されている旨の説明があった。
9. 杉野第23回年会長の挨拶があり、2000年12月13日（水）～16日（土）まで神戸国際展示場ならびに国際会議場を主会場として準備を進めているとの説明があった。
10. 山本正幸教授より第24回年会長を引き受けるとの挨拶があり、首都圏を会場とする予定であることなどの報告がなされた。
11. 議長より閉会の挨拶があり、総会が終了した。

■WWWによる会員原簿調査について

本学会では正・学生会員を対象として、数年ごとに郵送による会員原簿調査を行ってまいりました。

本年もまた調査の年にあたり、今回からインターネット環境下においても同様の調査ができるよう、本年4月中旬からの調査 Web サイト開設を目指して準備を進めております。

なお、URLは <http://bunshi.bcasj.or.jp/> を予定しております。

調査へのご協力をお願いかたがたご案内申し上げます。

日本分子生物学会2000年度収支予算案

(2000年4月1日 ~ 2001年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	1999年度予算額	2000年度予算案	備 考
学 会 費	36,310,000	38,970,000	正会員会費： 27,950,000円 (6,900名 x 4,500円 x 0.9)
賛 助 会 費	1,500,000	1,380,000	学生会員会費： 10,260,000円 (3,800名 x 3,000円 x 0.9)
広 告 収 入	0	1,800,000	海外会員会費(200名)： 560,000円
預 金 利 子	100,000	120,000	入会金(200名)： 200,000円
雑 収 入	50,000	50,000	
収入小計	37,960,000	42,320,000	
前年度繰越金	※ 18,300,000	20,660,000	※98年度決算・繰越金概算とした
合 計	56,260,000	62,980,000	

支出の部

科 目	1999年度予算額	2000年度予算案	備 考
事 業 費	14,000,000	17,650,000	
会報発行	3,000,000	3,000,000	第24回年会補助： 300万円 プログラム・第23回年会分： 200万円
年会補助金	5,000,000	5,000,000	
国際誌発行支援金	4,000,000	4,000,000	
〃 オンラインアクセス費用	0	3,350,000	ブラックウェル社支払い
国際誌購読関係費	1,000,000	1,000,000	国内購読取りまとめ費用等
ホームページ関係費	0	300,000	
その他	1,000,000	1,000,000	講習会補助金他
評 議 委 員 会 費	1,000,000	6,000,000	
委員会費	1,000,000	1,000,000	
選挙・名簿作成費	0	5,000,000	
業 務 委 託 費	9,500,000	10,000,000	会員増に伴う発送手数料増
一 般 事 務 費	10,100,000	10,700,000	
印刷費	300,000	400,000	
通信費	8,900,000	9,400,000	会報(名簿同封)プログラム他
庶務事務費	650,000	650,000	
雑 費	250,000	250,000	
予 備 費	1,000,000	2,000,000	会員情報(メール、ダイヤル)調査費用含む
支出小計	35,600,000	46,350,000	
次年度繰越金	20,660,000	16,630,000	
合 計	56,260,000	62,980,000	

※ 上記の収支繰越金以外に、将来事業準備金 4,000,000円(定期預金)があります。

◆第23回（2000年）日本分子生物学会年会のお知らせ（その1）

第23回日本分子生物学会年会を下記の要領で開催いたします。

1. 会 期：2000年12月13日（水）～16日（土）
総 会：12月15日（金）
2. 会 場：神戸国際展示場、神戸国際会議場、ポートピアホテル
3. 内 容：

現在下記の要領での開催を検討しております。詳細は次回会報（No. 66）でお知らせします。

- 1) 年会では、ポスターによる一般演題、ワークショップ（約40テーマ）、シンポジウム（20テーマ）、バイオテクノロジーセミナー、市民公開講演会等を計画しています。
- 2) ポスター発表の応募要領は次回会報（No. 66）に掲載します。応募の締切日は9月1日（金）の予定です。また、一般演題の中から一部を採用しワークショップで発表する方法を検討しています。なお、年会の参加および年会の演題受付などは Web で行えるよう計画しております。
- 3) シンポジウムおよびワークショップのテーマを公募します。シンポジウムおよびワークショップについてのご提案がある会員の方は、「テーマと概要（400字程度）、世話人と数名の演者の氏名と所属」を、2000年2月末までに、郵便か FAX で年会事務局宛に送付して下さい。シンポジウムとの関連、日程等を検討したのち採否を決めたく思いますので、採択されない場合もあることを予めご了承下さい（<http://MBSJ.biol.kobe-u.ac.jp> 参照）。
- 4) 講演要旨集は印刷物として発行します。
- 5) 懇親会は去年と同様行わず、その代わりにミキサーを企画しています。

第23回年会事務局 学会センター関西内

〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル14階

Tel: (06) 6873-2301 Fax: (06) 6873-2300

E-mail: o-conf@bcasj.or.jp

なお、年会開催についてのご意見、ご希望は、年会長宛に直接ご連絡下さい。

〒565-0871 吹田市山田丘3番1号

大阪大学微生物病研究所

遺伝子基礎研究部門・遺伝子複製研究分野

Tel: (06) 6879-8331 (直) Fax: (06) 6877-3584

E-mail: asugino@biken.osaka-u.ac.jp

第23回日本分子生物学会年会 組織委員会委員名簿

年会長

杉野 明雄 大阪大学微生物病研究所

副年会長

品川日出夫 大阪大学微生物病研究所

幹事

倉光 成紀 大阪大学大学院理学研究科
 下田 親 大阪市立大学大学院理学研究科
 田嶋 正二 大阪大学蛋白質研究所
 辻本 賀英 大阪大学大学院医学系研究科
 仲野 徹 大阪大学微生物病研究所
 二井 将光* 大阪大学産業科学研究所
 野島 博 大阪大学微生物病研究所
 原島 俊 大阪大学大学院工学研究科
 升方 久夫 大阪大学大学院理学研究科
 森川 耿右 生物分子工学研究所
 森田 隆 大阪市立大学医学部
 米田 悦啓 大阪大学大学院医学系研究科

委員

審良 静男 大阪大学微生物病研究所
 飯田 哲也 大阪大学微生物病研究所
 生田 和良 大阪大学微生物病研究所
 磯野 克己 神戸大学理学部生物学科
 今川 正良 大阪大学大学院薬学研究科
 大久保公策 大阪大学細胞生体工学センター
 大熊 芳明 大阪大学細胞生体工学センター
 岡野 栄之 大阪大学大学院医学系研究科
 岡部 勝 大阪大学微生物病研究所
 垣塚 彰 大阪バイオサイエンス研究所
 柿本 辰男 大阪大学大学院理学研究科
 片岡 徹 神戸大学医学部医学科
 金澤 浩 大阪大学大学院理学研究科
 金谷 茂則 大阪大学大学院工学研究科
 金子 嘉信 大阪大学大学院工学研究科
 金田 安史 大阪大学大学院医学系研究科
 川崎 泰生 大阪大学微生物病研究所
 菊谷 仁 大阪大学微生物病研究所
 木下タロウ 大阪大学微生物病研究所
 黒田 俊一 大阪大学産業科学研究所
 小林 資正 大阪大学大学院薬学研究科
 小林 祐次 大阪大学大学院薬学研究科
 近藤 壽人 大阪大学細胞生体工学センター

佐邊 壽孝 大阪バイオサイエンス研究所
 清水喜久雄 大阪大学ラジオアイソトープ
 総合センター

陣上 久人 生物分子工学研究所
 関口 清俊 大阪大学蛋白質研究所
 高井 義美 大阪大学大学院医学系研究科
 滝澤 温彦 大阪大学大学院理学研究科
 瀧原 義宏 大阪大学微生物病研究所
 竹田 潤二 大阪大学大学院医学系研究科
 田中亀代次 大阪大学細胞生体工学センター
 田辺 忠 国立循環器病センター研究所
 谷口 直之 大阪大学大学院医学系研究科
 谷澤 克行 大阪大学産業科学研究所
 月原 富武 大阪大学蛋白質研究所
 寺島 一郎 大阪大学大学院理学研究科
 藤 博幸 生物分子工学研究所
 永井 克也 大阪大学蛋白質研究所
 中嶋 弘一 大阪市立大学医学部
 長田 重一 大阪大学大学院医学系研究科遺伝医学
 中西 真人 大阪大学微生物病研究所
 中西 康夫 大阪大学大学院理学研究科
 中村 敏一 大阪大学医学部バイオメディカル
 教育研究センター
 中村 春木 大阪大学蛋白質研究所
 中村 正彦 大阪大学蛋白質研究所
 西宗 義武 大阪大学微生物病研究所
 長谷 俊治 大阪大学蛋白質研究所
 花岡 文雄 大阪大学細胞生体工学センター
 濱田 博司 大阪大学細胞生体工学センター
 平野 俊夫 大阪大学医学部バイオメディカル
 教育研究センター
 福井 希一 大阪大学大学院工学研究科
 堀井 俊宏 大阪大学微生物病研究所
 堀口 安彦 大阪大学微生物病研究所
 前田 正知 大阪大学大学院薬学研究科
 牧野 耕三 大阪大学微生物病研究所
 宮崎 純一 大阪大学大学院医学系研究科
 安永 照雄 大阪大学遺伝情報実験施設
 柳田 敏雄 大阪大学大学院医学系研究科
 山口 明人 大阪大学産業科学研究所
 湯通堂満寿男 大阪大学微生物病研究所
 吉川 和明 大阪大学蛋白質研究所
 和賀 祥 大阪大学微生物病研究所
 和田 洋 京都大学瀬戸臨海実験所

*庶務幹事

◆学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、本号に一覧として掲載しております。そのうち応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、本学会選考委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問合せ、申請書類を各自お取寄せ下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

1. 提出物

- 1) 本申請に必要な書類（オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー）
- 2) 本学会の5名の選考委員用および学会控に、上記申請書類のコピー計6部（論文は不要）
- 3) 申込受付確認のための葉書（返信用の宛名を記入しておいて下さい）

2. 提出先

日本分子生物学会 選考委員長 花岡文雄
〒565-0871 吹田市山田丘1-3
大阪大学細胞生体工学センター
Fax: (06) 6877-9382

3. 提出期限

財団等の締切りの1カ月前まで。提出期限後に受取った場合や、提出書類が不備な場合は選考の対象にならないことがあります。

◆研究助成一覧

名 称	連 絡 先	件 数	締 切	助成内容等	概 要
第31回三菱財団 自然科学研究助成	(株)三菱財団 ☎(03) 3214-5754 〒100-0005 千代田区丸の内2-5-2	総額3億円, 30件程度	2000年 2月22日	1件当り2,000万円 まで	自然科学の基礎となる独 創的,かつ先駆的研究と ともに,国際的發展に先 導的役割を担う萌芽とも なる研究(原則として個 人研究)。
新化学発展協会 2000年度研究奨励 金	(社)新化学発展協会 ☎(03) 3294-8031 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-5	8課題, 各課題1件	2000年 2月1日	1件 150万円	新化学の発展に資する若 手研究者(39歳以下)の 研究に対して,研究奨励 金を交付。 研究課題有り。
山田科学振興財団 2000年度研究援助	(財)山田科学振興財団 ☎(06) 6757-3311 〒544-8666 大阪市生野区巽西1-8-1	10件程度 (2件)	2000年 3月31日	1件当たり100~ 500万円, 総額4,000万円	自然科学の基礎的研究に 対しての研究費援助。 (推薦書の請求は 事務センター・福田 TEL 03-5814-5801まで)
日本生命財団研究 助成	(財)日本生命財団 ☎(06) 6204-4012 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル	総額8,000万円 程度	2000年* 5月10日	申請金額に制限 なし	「人間活動と環境保全と の調和に関する研究—自 然と人間の共生への新し い道を求めて—」の趣旨 に沿った研究のうち,「人 間活動と自然環境との関 係(人間と自然環境の共 存)」関連分野で,かつ現 在および将来の重要課題。
アマジャムファル マシアバイオテック 分子生物学若手研 究者奨学金	アマジャムファルマシア バイオテック(株) バイオダイレクト事業部 ☎(03) 5331-9330 〒141-0021 品川区上大崎4-5-37 本多電機ビル (応募先) Young Scientist Prize Selection Committee, SCIENCE Room 1044, 1200 New York Avenue, NW Washington, DC 20005, USA	若干名	2000年* 6月15日	最優秀賞金 US\$ 25,000 その他の受賞者 US\$ 5,000	1995年より SCIENCE 誌 との協賛で,学位取得直 後の優秀な若手研究者を 支援するために Pharmacia Biotech & SCIENCE Prize for Scientists in Molecular Biology を設 置。
国際生物学賞	国際生物学賞委員会 ☎(03) 3263-1721 〒102-0083 千代田区麴町5-3-1 ヤマトビル 日本学術振興会内	1件 (1件)	2000年* 5月7日	賞状, 賞牌, 1,000万円	生物学の研究において世 界的に優れた業績を挙げ 、世界の学術進歩に大き な貢献をした研究者 (昨年度,授賞分野は動 物生理学)。
第18回研究助成 第17回国内および 海外留学補助金 第17回持田記念学 術賞	(財)持田記念医学薬学振興 財団 ☎(03) 3358-7211 〒160-8515 新宿区四谷1-7	総額 4,200万円 総額 500万円 2件以内 (1件)	2000年* 6月30日 2000年* 6月30日 2000年* 7月31日	1件 100万円 1件 50万円 1件 300万円	生命科学・薬物科学・情 報科学と医療応用の研究 の分野における研究で, 顕著な功績があり,かつ 新進気鋭の研究者。
第27回日産学術研 究助成	(財)日産科学振興財団 ☎(03) 3543-5597 〒104-0061 中央区銀座6-16-9 日産ビルネット館-1	①一般研究 10件程度 (枠なし) ②奨励研究 25件程度 (枠なし)	2000年* 8月20日	①1,000万円まで ② 200万円まで	自然科学分野で,それぞ れの研究の成果が学術の 進歩・発展に貢献するこ ろが大きいと思われるも の,新しい研究分野の 開拓に貢献するもので, 45歳以下の研究者および 研究グループ(奨励研究 は35歳以下)。
第8回日産科学賞		2件 (1件)		賞状, メダル, 500万円	自然科学分野で,学術文 化の向上・発展に大きな 貢献をした満50歳未満の 研究者。
笹川科学研究助成	(財)日本科学協会 ☎(03) 3502-1931 〒105-0001 港区虎ノ門1-11-2 日本財団第2ビル	約390件	募集期間 2000年* 9月1日 ~ 10月29日	1件当り100万円ま で	人文科学,社会科学およ び自然科学(医学を除 く),または境界領域の 研究計画に関するもの。 4月1日現在,35歳以下 の若手研究者へ助成。
上 原 賞	(財)上原記念生命科学財団 ☎(03) 3985-3500 〒171-0033 豊島区高田3-25-3	2件以内 (1件)	2000年* 9月10日	金牌, 1,000万円	生命科学の薬理学,薬学, 基礎および臨床医学,社 会医学で顕著な業績を挙 げ,引き続き活躍中の研 究者。

名 称	連 絡 先	件 数	締 切	助成内容等	概 要
井 上 学 術 賞	(財)井上科学振興財団 ☎(03) 3477-2738 〒150-0033 渋谷区猿楽町11-20	5 件以内 (1 件)	2000年* 9 月20日	1 件賞状, メダル, 200万円	自然科学の基礎的研究者 で特に顕著な業績を挙げ た者(ただし締切日現在 満50歳未満)。
木原記念財団学術賞	(財)木原記念横浜生命科学 振興財団 ☎(045) 825-3487 〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12	1 件 (1 件)	2000年* 9 月30日	賞状, 記念牌, 200万円	最近において生命科学の 分野で優れた独創的研究 を行っている国内の研究 者で, 原則として締切日 現在50歳以下の者。
東レ科学技術賞	(財)東レ科学振興会 ☎(047) 350-6103 〒279-8555 浦安市美浜1-8-1 東レビル	2 件前後 (2 件)	2000年* 10 月 8 日	1 件 賞状, 金メダル 500万円	学術上の業績顕著な者, 学術上重要な発見をした 者, 重要な発明により効 果が大きい者, 技術上の 重要問題を解決し貢献が 大きい者。 基礎的な研究に従事し, 今後の研究の成果が科学 技術の進歩・発展に貢献 するところが大きいと考 えられる, 独創的, 萌芽 的な研究を活発に行っ ている若手研究者。
東レ科学技術研究 助成		総額 1 億3,000万円 10件程度 (2 件)	2000年* 10 月 8 日	特に定めず最大 3,000万円まで	
第32回科学振興賞	(財)内藤記念科学振興財団 ☎(03) 3813-3005 〒113-0033 文京区本郷3-42-6 NKD ビル 8 階	1 件 (1 件)	2000年* 11 月10日	正賞, 金メダル 300万円	人類の健康の増進に寄与 し得る自然科学の基礎的 研究, なかんなく疾病の 予防と治療に関する独創 的テーマに取り組み, 自 然科学の進歩発展に顕著 な功績を挙げた研究者。
第32回海外学者招 聘助成金		前後期各総額 500万円 (1 件)	2000年* 7 月10日 11 月10日	1 件 50万円まで	同上のテーマに取り組 み, 国際的に高い評価を 得ている外国の研究者を 招聘する受入れ責任者に 贈呈。
ブレインサイエ ンス財団研究助成		8 件 (1 件)	2000年* 11 月29日	1 件 80万円	ブレインサイエンス研究 分野(脳神経に関する自 然科学的研究をすべて含 む研究領域)において独 創的で国際的評価に値す る研究者。なるべく若い 者, 単独または共同研究 も可。
塚原仲晃記念賞	(財)ブレインサイエンス振 興財団 ☎(03) 3273-2565 〒104-0028 中央区八重洲2-6-20	1 件 (1 件)		1 件 100万円	ブレインサイエンスの研 究の促進を図るため, 国 際学会, シンポジウム等 への参加, あるいは研究 者の派遣を助成。
海外派遣研究助成		総額120万円 (1 件)	2001年* 1 月17日	1 件 30万円まで	同分野において独創的テ ーマに意欲的に取り組ん でいる外国人研究者の招 聘を助成。
海外研究者招聘助 成		総額80万円 (1 件)		1 件 30万円まで	
研 究 助 成	(財)長瀬科学技術振興財団 ☎(06) 6535-2117 〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17	10数件	2000年* 11 月30日	1 件 250万円程度	生化学および有機化学等 の分野において研究活動 を行う研究者または研究 機関。
国 際 交 流 助 成		10件程度	2000年* 11 月30日	1 件 30万円程度	生化学および有機化学等 の分野において研究調査 を行う研究者の海外派遣 または招聘(除く留学)。
第14回研究集会助 成	(財)バルティス科学振興財 団 ☎(0797) 74-2460 〒665-8666 宝塚市美幸町10-66	約10件 (1 件)	2000年* 6 月30日	1 件 50万円	わが国で開催される生物 ・生命科学およびそれに 関連する化学の領域にお ける研究集会に対し, 運 営経費の一部を助成す る。研究集会はかなりの 数の国外からの参加者 を含む国際性豊かな集 会ではない。ただし, 参 加者が1,000名を越 すような大規模な研究 集会および2 国間の研 究集会は原則として助 成の対象としない。
第10回海外学会出 席助成		約15件 (1 件)		1 件 20万円	海外で開催される生物 ・生命科学の学会への出 席に対し, 旅費・滞在費 の一部を助成。

名 称	連 絡 先	件 数	締 切	助成内容等	概 要
植物科学基金 若手研究者 海外学会出席助成	植物科学基金 事務局 ☎(03) 3814-5675 〒113-0033 文京区本郷2-27-2 (株)日本植物学会内	10件前後	2000年 4月30日	1件当たり10万円ま で総額100万円以内	植物科学に関連して海外 で開催される国際学会・ シンポジウムに参加する 若手研究者の渡航費補 助。

() 内は、応募に当たり学協会等からの推薦が必要な場合本学会よりの推進枠を示しています。
*は、本年度の案内を受取っておらず、昨年締切日を参考に示してあります。

◆各種集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ

○神奈川科学技術アカデミー (KAST) 教育講座 平成11年度第Ⅳ期 受講生募集

●遺伝子操作基礎・応用実験コース 「バイオテクノロジーの基礎から応用まで」(新規)

カリキュラム編成者：東京工業大学フロンティア創造共同研究センター 教授 医学博士 半田 宏
コースの特色・ねらい：

従来の研究の幅を広げるために遺伝子操作の技術を導入しようとする人を対象に、実際に遺伝子のクローニングと培養細胞への遺伝子導入、組換えタンパク質の発現などを実習することにより、遺伝子操作の基本を修得し、各々の分野で実践できるようにすることをねらいとしています。

講義日：2000年3/13、3/14、3/15、3/16、3/17、3/18 (計6日間)

主なカリキュラム内容：

〈実習〉基礎(定員20名)・応用(定員10名)コースのどちらかを選択

基礎コース：HeLa細胞からのRNAの調整/mRNAからcDNAへの変換反応/PCR法による遺伝子増幅/増幅した遺伝子のプラスミドベクターへの組込み/組換えプラスミドの調整/制限酵素マップの作成/DNAの塩基配列の解析

応用コース：大腸菌、培養細胞の形質転換/組換えタンパク質の発現と精製/ポリアクリルアミドゲル電気泳動とイムノプロットング/免疫沈降法などによる

組換えタンパク質の解析

〈トピックス〉インターネットによる遺伝子情報の解析法

〔実習場所〕東京工業大学長津田キャンパス
(横浜市緑区長津田町)

受講料(基礎・応用各々)：168,000円 KAST法人賛助会員(事業所単位)・神奈川県内中小企業 134,400円

●申込み締切日：
平成12年2月14日(月)

●問合せ先：
財団法人 神奈川科学技術アカデミー 教育交流部教育研修課
〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
KSP 西棟 6F
Tel: (044) 819-2033 Fax: (044) 819-2097
E-mail: kast-ed@net.ksp.or.jp
URL: http://home.ksp.or.jp/kast/

○第10回生命工学シンポジウム 「体内時計遺伝子の発現制御機構—体内の自転機構」

開催日時：2000年3月3日(金) 13:00~17:00

場 所：工業技術院筑波研究センター共用講堂
(茨城県つくば市東1-1)

参加費：無料

講演者：Reppert, SM (Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School), Sassone-Corsi, P (Institut de Genetique et de Biologie Moleculaire et Cellulaire)、八木田和弘(神戸大)、藤堂 剛(京都大)、坂本克彦(生命工学工業技術研究所)、大石勝隆(生

命工学工業技術研究所)

連絡先：通産省 生命研 生体情報部 時計遺伝子宮崎 歴、石田直理雄
Tel: (0298) 54-6500 Fax: (0298) 54-6095
E-mail: nishida@nibh.go.jp

主催：通産省 工業技術院 生命工学工業技術研究所

協賛：化学・バイオつくば財団
(多数のご来聴を歓迎いたします)

○計算科学技術活用型特定研究開発推進事業研究報告会 (ACT-JST)

主催：科学技術振興事業団 (JST)

開催日時：2000年3月9日(木) 9:30~17:00

開催場所：都市センターホテル (〒102-0093 東京都千

代田区平河町 Tel. 03-3265-8211)

内 容：科学技術振興事業団では、計算科学技術を活用した計算科学技術の進展に貢献する研究開

発を進めています。このうち短期集中型（4分野で合計50課題）は、平成12年3月末で研究開発期間を終了します。各課題の研究内容とこれまでに得られた成果を公の場において発表する機会を設け、内容の公知と活発なディスカッションを促進して研究者間の相互理解および交流を図り、またプロジェクトのまとめに役立てる目的で研究発表会を行います。

参加費：無料（レセプションは有料）
連絡先：(財)日本科学技術振興財団 振興部

Tel: (03) 3212-8487 Fax: (03) 3212-0014
E-mail: shinko@jsf.or.jp
URL: http://www.scc.jst.go.jp/cst/

その他：研究開発分野：①物質・材料分野 ②生命・生体分野 ③環境・安全分野 ④地球・宇宙観測分野
発表形態：口頭発表およびポスターセッション
基調講演：土居範久（慶應義塾大学教授）
「計算科学技術への期待—理論・実験に次ぐ第三の科学技術」

○第11回 NTT Science Forum

テーマ『21世紀の先端医療—ゲノムの解読は何をもたらすか？—』

11回目を迎えるNTTサイエンスフォーラムでは、ゲノム・インフォマティクスをキーワードに、私達の永遠の関心である生命科学と情報科学の融合領域を取り上げ、21世紀の最先端医療について考えてみます。

主催：NTTサイエンスフォーラム運営委員会、日本電信電話株式会社

開催日時：2000年4月6日（木）13:00~18:00

※参加費無料

会場：東京厚生年金会館大ホール
（東京都新宿区新宿5-3-1）

プログラム：（講演時間および講演テーマは、都合により変更になる場合があります）

- 13:00-13:10 主催者挨拶
日本電信電話株式会社 代表取締役社長 宮津純一郎
NTTサイエンスフォーラム運営委員会 委員長 猪瀬 博（学術情報センター所長）
- 13:10-14:10 基調講演1
「生体内、生体外そしてシリコへ：コンピュータ生物学と機能ゲノム学の最前線」（仮題）
National Institutes of Health, National Library of Medicine,
National Center for Biotechnology Information

Mark S. Boguski, M. D., Ph. D.

- 14:10-15:10 基調講演2
「ゲノム情報の医療への応用と医学倫理」
自治医科大学 学長 高久史磨
- 15:10-15:40 休憩
- 15:40-16:00 パネリスト講演1
「ゲノム情報に基づく細胞の再構築にむけて」
慶応義塾大学 環境学部 教授 富田 勝
- 16:00-16:20 パネリスト講演2
「21世紀のオーダーメイド医療」
東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター センター長 中村祐輔
- 16:20-16:40 パネリスト講演3
「医学は患者の望みの何に應えるのか」
国際基督教大学 教養学部 教授 村上陽一郎
- 16:40-18:00 パネル討論/Q&A *敬称略
テーマ「ゲノム研究が創る21世紀医療」
Mark S. Boguski、高久史磨、富田 勝、中村祐輔、村上陽一郎
モデレータ：東京大学 国際・産学共同研究センター センター長 軽部征夫
（*敬称略）
- 問合せ先：NTTサイエンスフォーラム事務局
Tel: (0422) 60-3278 Fax: (0422) 60-3279

○マリンバイテク香川2000

—第4回マリンバイオテクノロジー学会大会の開催について—

主催：マリンバイオテクノロジー学会
会期：2000年5月20日（土）、21日（日）
会場：香川県県民ホール
〒760-0030 高松市玉藻町9-10）
発表申込締切：2000年3月10日（金）必着
発表要旨締切：2000年4月7日（金）必着
発表形式：一般講演 口頭発表（質疑含む15分、OHP使用）、ポスター発表
発表・参加申込要領の請求方法：住所（郵便番号）、氏名、所属、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記のうえ、下記の連絡先までお申し込み下さい（電子メールをご利用下さい）。

参加登録料：（3月10日まで）（3月11日以降）
会 員 一般 5,000円 7,000円
学生 3,000円 4,000円
非会員 一般 9,000円 10,000円

学生 4,000円 5,000円
（発表要旨集代を含みます）
懇親会：5月20日（土）18:30-20:30（一般 5,000円、学生 2,000円）
シンポジウム：次の5件を企画しています。
（1）赤潮研究へのバイテクによるアプローチ
（企画責任者：石田祐三郎）
（2）海洋深層水の生理機能（企画責任者：北村孝雄）
（3）海洋における環境修復とエコテクノロジー
（企画責任者：門谷 茂）
（4）水圏生物資源の多様性と特徴
（企画責任者：渡部終五）
（5）海洋微生物の産生する生物活性物質—研究の現状と展望
（企画責任者：伏谷伸宏）
一般講演/ポスター発表：
連絡先：門谷 茂（マリンバイテク香川2000 実行委員長）

香川大学農学部
(〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393)
Tel: (087) 891-3143 Fax: (087) 891-3021
E-mail: marbio@ag.kagawa-u.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.soc.nacsis.ac.jp/jsmb/index.html>
大会ホームページ: <http://www.soc.nacsis.ac.jp/jsmb/mbio.html>

○第15回日本生体磁気学会大会

開催日: 2000年5月26日(金)~27日(土)
場所: 工業技術院 共用講堂
(〒350-0046 つくば市東1-1-4)
大会長: 葛西直子(電子技術総合研究所)
テーマ: 生体磁気計測、磁気生体作用、MRI等
演題締切: 3月10日(金)(数行の概要添付)
原稿締切: 4月10日(月)(刷り上がり2ないし4頁)
会員以外からも広く一般演題を募集します。詳しくは下記までお問合せ下さるか、本大会のホームページをご参照下さい。

問合せ先: 〒113-0033
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院医学系研究科
医用生体工学講座
第15回日本生体磁気学会 事務局
伊良皆啓治
Tel/Fax: (03) 5841-3587
E-mail: iramina@medes.m.u-tokyo.ac.jp
大会ホームページ: <http://www.etl.go.jp/~biomag20/>

○蛋白合同年会 東京2000 (第51回タンパク質構造討論会、第12回蛋白工学会、第7回タンパク質立体構造の構築原理ワークショップ)

会期: 2000年6月7日(水)~10日(土)
会場: 学習院創立100周年記念会館(豊島区目白1-5-1, JR目白駅より徒歩3分)
共催: 日本生化学会、日本分子生物学会、他
発表申込締切: 2000年3月10日(金)
予稿原稿締切: 2000年4月21日(金)
参加登録予約申込締切: 5月15日(月)

討論主題: タンパク質の構造・物性と生物学的機能および分子進化

発表形式: 主催の3グループが融合した形を取りますが、'99年6月横浜における合同年会とはほぼ同じ形式で、口頭発表とポスター発表、ワークショップがあります。口頭発表およびポスター発表については一般公募を行います。ワークショップは2つ行い、ワークショップ1は主題を「タンパク質立体構造の構築原理」として1日目の午後に予定しています。ワークショップ2の主題は未定ですが、生物学的な面を強調したものを2日目の午後に予定しています。口頭発表として申込まれた題目の中から、ワークショップに採用させていただくこともあります。プログラムは4月上旬にホームページに掲載を予定しています。

発表申込方法:

1. 口頭発表: 発表者(講演者に○)、所属、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)、講演題目、要旨(約1200字;特に討論の対象となる点)を郵便あるいはFaxで下記までお送りください。発表者、所属、演題には英文を付記のこと。口頭発表希望者が多数の場合にはプログラム委員会が採択を決めさせていただきます。口頭発表に採択されなかった場合、ポスター形式での発表を希望されるか、申込を取り下げるかを明示してください。予稿原稿(A4で4枚)の形式については、該当者に直接連絡します。
2. ポスター発表: 発表者(講演者に○)、所属、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)、講演題目、要

旨(約200字)をこの順で記し、E-mail(テキスト形式、添付文書は不可)でお送りください。発表者、所属、演題には英文も付記のこと。E-mailを使えない場合は郵便あるいはFaxで受け付けます。予稿原稿(A4で1枚)の形式については、該当者に直接連絡します。今年度もProtein Engineering誌への掲載は行いません。

予約参加費: 一般3,000円(当日4,000円)、学生1,500円(当日2,000円)

予稿集: 3,000円

懇親会: 6月9日(金)夕刻より学習院創立100周年記念会館にて。会費 一般6,000円(当日7,000円)、学生3,000円(当日4,000円)

参加登録予約申込方法: 個人単位で銀行振込[富士銀行目白支店(店番号231)、普通預金口座2048647、口座名: 蛋白合同年会 三浦謹一郎](振込の際、振込人の氏名、所属の順に入力してください)のうえ、氏名、所属、住所、電話・Fax番号、一般・学生の別、参加登録・予稿集・懇親会の費目、振込金額、振込日を記してE-mailでお申込み下さい。E-mailを使えない場合は郵便でも受け付けます。

発表申込および参加登録の詳細は下記のホームページを参照して下さい。インターネットを利用できない場合は、詳細な申込方法を送付しますので、下記にご請求下さい。

申込先: 〒171-8588 豊島区目白1-5-1
学習院大学理学部生命科学研究所
蛋白合同年会事務局
Tel: (03) 5992-1033 Fax: (03) 5992-1034
E-mail: 19910104@gakushuin.ac.jp
ホームページ: <http://www.gakushuin.ac.jp/~ibs-www/protein.html>

○第27回核酸化学シンポジウム

共催: 日本分子生物学会、他
日時: 2000年10月31日(火)~11月2日(木)
会場: 岡山市古京町1-1-10 岡山衛生会館(三木記念ホール)

講演申込締切: 4月28日(金)
講演要旨(英文)締切: 2000年6月9日(金)

参加登録予約申込締切：2000年9月15日（金）

討論主題：核酸および関連化合物のA) 有機化学（モノマー）、B) 有機化学（オリゴマー）、C) 物理化学および分析化学、D) 生化学および分子生物学、E) リボザイム・アンチセンス、F) その他

発表形式：口頭発表は1演題あたり発表15分質疑応答5分、この他にポスターセッション（全発表の1/2程度）を設けます。

発表申込方法：申込はE-mailをお願いします。なお原則として、一研究室あたり口頭発表およびポスターを含め2件以内に限らせていただきます。1) 希望主題、2) 発表形式（口頭またはポスター）、3) 演題（英語および日本語）、4) 発表者の所属・氏名（講演者に○、英語および日本語）、5) 連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail）、6) 和文要旨（約200字）の順に記入し、nacs@eagle.pharm.okayama-u.ac.jp までお送り下さい。E-mail がご使用になれない場合、A4

判の用紙に上記の事項を記入のうえ、原稿をテキスト形式で保存したフロッピーディスクと、返信宛先および演題名を記入した返信用葉書を添えて、下記宛にお申込み下さっても結構です。発表希望の分野その他の詳細は、ホームページをご覧ください。

参加登録費：予約一般8,000円、予約学生5,000円（当日各2,000円増し）

懇親会：11月1日（水）夕方開催予定。会費8,000円。
申込・連絡先：〒700-8530 岡山県岡山市津島中1-1-1

岡山大学薬学部（医薬品情報学講座）

綿矢有佑、または金 惠淑（きむ へすく）

Tel: (086) 251-7975、-7976

Fax: (086) 251-7974

E-mail: nacs@eagle.pharm.okayama-u.ac.jp

ホームページ: <http://eagle.pharm.okayama-u.ac.jp/info/NACS/index.html>

○4th International Conference on Biological Physics (ICBP2001)

共 催：IUPAP、日本学術会議（予定）、日本物理学会、日本生物物理学会

日 時：2001年7月30日（月）～8月3日（金）

場 所：国立京都国際会館（〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池 Tel: (075) 705-1234）

内 容：国際純粋・応用物理学連合（IUPAP）が3年ごとに開催する会議で、生物学（Biological Physics）の最新の研究成果を討議する。生物学は、生命現象の基本過程を物理学の立場から解明することと、解明された概念の物理学ならびに諸科学への応用を研究課題とする。主な研究テーマは、分子モータなどの生体高分子とその集合体の構造と機能およびゲノム情報と進化、脳の物理、非線形非平衡

系としての生命現象、複雑系に関する研究である。

定 員：700名（国内450名、海外250名）

参加費：早期登録の場合40,000円、早期登録（学生）20,000円

講演申込抄録締切：2001年4月9日（月）

早期参加登録締切：2001年5月28日（月）

連絡先：〒338-8570 浦和市下大久保255

埼玉大学工学部 伏見 謙

Tel: (048) 858-3531、Fax: (048) 858-3531、

E-mail: icbp2001@kokusai.phys.nagoya-

u.ac.jp、詳細はURL <http://kokusai.phys.nagoya-u.ac.jp>

○第2回 C. エレガンス日本集会

会 期：2000年8月1日（火）～3日（木）

会 場：東京医科歯科大学講堂（東京都文京区）

オーガナイザー：三谷昌平（東京女子医科大学）

参加費：2,500円

発表形式：口頭発表

英文要旨締切：2000年5月31日（水）

詳細は、ホームページでご確認下さい。

URL <http://www.cbi.or.jp/~sano/wormjp/>

問合せ先：

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学 第二生理学 三谷昌平

Tel: (03) 3353-8111（内線）22412

Fax: (03) 5269-7362

e-mail: mitanil@research.twmu.ac.jp

新入会用 Web site URL:<http://bunshi.bcasj.or.jp/>

日本分子生物学会 会報

年 3 回刊行

第65号 (2000年 2 月)

発 行 : 日本分子生物学会 庶務幹事

製 作 : 学会センター関西

(財)日本学会事務センター 大阪事務所